

われわれはいつたい何を信じてよいのかわからなくなり、知的に不安定な状態に置かれることになる。

三つめの問題として、民主的な社会における意思決定の正統性が損なわれてしまう点が挙げられる。現在、多くの国や社会では、住民投票や選挙等の直接的・間接的な民主的手続きを通じて意思決定が行われている。しかしこの **iii** は、それそれの社会の成員が政治的な問題に対する判断能力を具えていることを前提にするだけでなく、一人ひとりある程度正しい情報が共有されていることをもまた前提にする。したがって、もしもこの前提が崩れるとすれば、民主的な **iii** そのものの信頼性が揺らぐことになり、決定された結果の正統性にも疑いの目が向けられることになる。この問題はさまざまなかたちで顕在化してきているが、それが問題として人々のあいだに共有されるきっかけとなったのは、二〇一六年、イギリスで行われたEU（欧州連合）離脱（レグジット）についての国民投票であった。その際、EU離脱派のナイジェル・ファラージによる「EUへの拠出金が週三億五〇〇〇万ポンドに達する」という発言がSNS上で拡散されたが、彼は投票後に、実際の拠出金がそれより大幅に少ない額であったことを認めた。この情報が実際の投票結果にどの程度影響を与えたのかはわからないが、もしも国家や自治体の行く末を決める **B** 意思決定の結果がフェイクニュースに左右されるものだったとすれば、それは現在のわれわれだけの問題ではない。

ひいては、未来を生きる子どもたちに対する責任という問題にもなってくる。

最後に、フェイクニュースによって人々が真理への関心を失っていく問題を挙げておきたい。もちろん、従来もさまざまな場面で間違った情報が伝えられることはあったが、これまでは少なくとも、間違った情報を伝えるとはよくないことであり、情報の真偽は検証されなければならず、もしも間違っていることが判明したら訂正する必要があると思われていた。例外は多々あったにせよ、従来の **iv** は世の中で起こった新たな出来事を伝えるという意味でのフェイクニュースを発信する機関として存在しており、建前であれ何であれ「真なることを伝えるべし」という規範を共有していたように思われる。

い、ネット時代のフェイクニュースの発信者は、多くの場合このような規範を共有していない。そしてこの規範に関していえば、先ほどみた嘘をつく人とでたためを言う人とは、後者のほうがより問題が大きい。たとえば、嘘をつく人は自分の主張に反する証拠を持ちだされれば、嘘を取り繕おうとしてその証拠を何らかの仕方 **②**、反証、つまり反対の証拠を示そ

うとするだろう。この点で、嘘はまだ真実を検証するゲームの土俵に乗っている。 **□**。つまり、真実を語る人と嘘をつく人は真実を検証するゲームのなかで反対の立場に立っているのに対して、でたためを言う人はそもそもそのゲームの土俵に乗っていない。

このような真実に対する態度の違いは、でたためを言う人を負けることのない「無敵」の状態にしてしまう。たとえば、将棋というゲームで「負ける」ことがありうるのは、お互いが将棋の **v** に則ってコマを動かしているからであり、そのような共通の **v** に従わずコマを自分の好きなように動かしている人は、負けることがありえない。もちろん、逆に「勝つ」こともありえない。 **う**、真実の検証ゲームの土俵に乗らない人はどんな証拠を持ちだされたとしても、そもそも証拠によって「負ける」ことはない。そこでは、もはや真実は何の規範性もたなくなってしまう。

そして、もしもこのような態度が社会全体に蔓延していけば、現在は物事の真偽に関心をもっている人々も、その関心を知らず知らずのうちに失っていき、真偽へのこだわりをもつ人のほうが少数派になっていく可能性がある。私がかつとも恐ろしいと思うのは、もしかしたらこのような変化がすでに至るところで進行中なのかもしれないということである。

ここまでの話は真偽に関心をもちことが重要だということを前提にしていた。 **え** ここで、「そもそもなぜ真偽に関心をもたなければならないのか」と反発したくなる人もいるだろう。そしてこの問いに答えるのは、なかなか難しい。それはこの問いが「そもそも本当に真理に価値があるのか」という、より根本的な問いを含んでいるからである。

この問いに対してまず考えられるのは、真なる信念の価値に訴えることである。ここでは「信念」とは宗教的な信念だけを意味するのではなく、 **C** に「……と思っていること」全般を意味する。たとえば、「のきのこは食べられる」という信念が間違っていると、その信念に従って行えば死んでしまう可能性がある。

が世界の実験のあり方に反するからであり、世界のあり方に合致した真なる信念をもっているほうが行為を成功に導きやすいからである。実際、科学が発見した自然についての多くの真理は、さまざまな発明品を通じてわれわれの生活を飛躍的に便利にし、かつ、豊かにしている。この点で、真なる信念は大きな **D** 価値をもつ。

この説明は、真偽の重要性を真理の価値自体によってではなく、真なる信念がもたらす **X** の価値（生活の豊かさや生命の安全など）によって説明するものである。たとえば、お金はそれを使った **X** として、おいしいものを食べられたり、楽しい映画を観られたりする点で価値がある。これを「道具的な価値」という。同様に、真なる信念は何か別の価値あるものをもつてしまう。というのも、真なる信念は、常に利益を与えてくれるとは限らないからである。

③ ための道具的な価値をもつ。しかし、このように説明してしまえば、真なる信念は常に追求されるべきものではなく、なつてしまふ。というのも、真なる信念は、常に利益を与えてくれるとは限らないからである。

たとえば、私が崖を飛び越えなければならない状況にあつたでしょう。私がある崖を飛び越えられる確率が著しく低いことを正しく認識している場合、その真なる信念は私の足をすくませ、跳躍を失敗に導くこともある。このとき、

Y

生存の確率は上がることになる。あるいは、自分の病気が深刻かもしれないと知ることと、大きな恐怖や不安をもたらす。したがって、この場合も知らないうちに幸せに過ごせるかもしれない。このように本当のことを知ることは、実際にはさまざま **vi** をもたらさう。そして、これはニユースに対してもあてはまる。真実を伝えるニユースを知ることには、ときに不快な思い、不安、悲しみ、怒り、等々さまざまネガティブな感情を引き起こす。それゆえ、真実よりも自分にとってポジティブな感情をもたらしてくれる「ニユース」を求めたほうがいいと判断することには一定の合理性がある。

二

では、このような反論に対してどのように応答できるだろうか。まず真理から遠ざかることはその場では幸福や利益をもたらすかもしれないが、長目でみるとやはり結果として得られる幸福や利益は減少する、と答えることはできる。これはフエイクニユースがどういふ場合に許容され、逆にどういふ場合に許容されないのかに関わっている。

さらに真理には道具的な価値だけでなく、それ自体に価値があると答えることもできるだろう。お金の例でいえば、他の価値あるものと交換できることは道具的価値であるが、親費用の金のコインが人を惹きつけるのは、それ自体が美しきという **E** な価値をもっているからである。真理もこれと同じである。事件の真相がどうか、世界が本当のところどうなっているのかに人が惹きつけられるのは、真理がそれ自体 **E** な価値をもつからである、と。

しかし、いま問いを投げかけてきている相手はそのような真理にそもそも惹きつけられない人なのかもしれない。もしも価値があると言ってみよう。そこで、真理の価値や真理がもたらす結果の価値だけではなく、真理を氣に掛けること自体にも価値があると言ってみよう。

ホ

M・リンチは、真理を氣に掛けることはよい人生の一部を構成するという意味で「構成的なよさ」をもつと考える。その例として、愛のある態度を挙げることができる。もちろん、愛のある態度をとる人は他人から好かれやすいため、その道具的価値を **④** することはできる。しかし、仮にそのような結果がまったく伴わなかった場合、その人の人生は価値がなかったことになるのだろうか。そうはならないだろう。愛のある態度は人としてよく生きることに本質的な一部を成しており、その価値はその態度の結果にあるのではなく、愛のある態度をとる人の人生そのものにある。同様に、真理を氣に掛けるという態度は人としてよく生きることに本質的な一部を成しており、そのような態度をとる人生そのものに価値がある。

では、真理を氣に掛ける態度とは具体的にどのような行動として現われるのだろうか。それはたとえば、対立する意見のどちらにも耳を傾けようとするのであつたり、証拠に細心の注意を払つたりするのであつたりする。これらの行為を、リンチは知的な真摯さの現われと捉える。このような行動を継続できる人は知的な真摯さという知的な徳を具えた人でもある。

ここで「知的な徳」という言葉について補足しておきたい。「徳」と聞くと、多くの人は道徳（倫理的な徳）を思い浮かべるだろう。たとえば、その代表例である勇気や寛容などは倫理的に優れた人がもつべき特性である。それに対して、知的な徳は知的に優れた人がもつべき特性である。たとえば、命の危険にさらされている仲間を助けるためにのび太さんが強大な敵に立ち向かう行為は倫理的な徳としての勇氣の現われであるのに対して、真実を明らかにするためにロンアのジャーナリストが強大な権力に立ち向かう行為は知的な徳としての知的勇氣の現われである。その違いは、倫理的な徳が「仲間の命を助ける」という倫理的によいこと（善）の实现に動機づけられているのに対して、知的な徳は「真実を明らかにする」という **F** によりこと（真理）の獲得に動機づけられている点にある。

この観点に立れば、先にみた「正直さの欠如」は知的な徳の欠如であり、もつといえは知的な唯徳である。そしてこのような悪

徳を、われわれはフェイクニュースに限らず、日常的にしばしば目にしている。その典型例は、政治家の答弁や釈明である。彼ら彼女らは、その場を逃れるために意図的に質問をはぐらかし、関係のないことを滔々と弁じ続け、真実から人々の目を背けさせようとする。

へ。これらの知的な悪徳をもった人は、たとえその人がどれほど崇高な政治的理想を喧伝していたとしても、人として優れているとみなすのは難しいだろう。しかし、このような「Z」への無関心な態度に異を唱えないまましていると、それが社会のなかで許容されていき、政治家だけでなく多くの人たちのあいだで常態化していくことになりかねない。いや、私の認識ではむしろこの常態化はすでにかんりの程度進行してしまっている。この意味で、フェイクニュースとの戦いは、単にわれわれの利益を守り、実害を「5」ための戦いであるだけでなく、われわれのよき生のあり方を「6」、取り戻すための戦いでもある。

山田圭一著「フェイクニュースを哲学する——何を信じるべきか」(岩波新書)から

問一 空欄 イ〜ハ には、次のどの文を入れるのが最も適当か、それぞれ一つ選んでマークせよ。

- 1 したがって、ここまでの回答だけだと彼女らの心にはあまり響かない可能性がある
- 2 それに対して、でたためを言う人はそのような証拠に対して反証しようと思せず、端的に無視する
- 3 それは、知的な正直さや真摯さが欠如した態度である
- 4 つまり、偽なる信念はさまざま被害をもたらす
- 5 つまり、真実は常に人に幸福や利益をもたらすとは限らないから、真実を気にかける必要などない、という議論は可能であろう
- 6 とりわけ深刻な問題となるのが、マスメディア、あるいは科学者に代表される専門家への批判と結びついたときである

問二 空欄 ありえ には、次のどの言葉を入れるのが最も適当か、それぞれ一つ選んでマークせよ。

- あ 1 ただし 2 たとえは 3 なぜなら 4 よって
- い 1 したがって 2 それに対して 3 だからこそ 4 というのも
- う 1 それなのに 2 同様に 3 ところで 4 とはいえ
- え 1 しかし 2 そして 3 それゆえ 4 つまり

問三 空欄 i〜vi (iii・vはそれぞれ二か所) には、次のどの言葉を入れるのが最も適当か、それぞれ一つ選んでマークせよ(同じ言葉を二度用いてはならない)。

- 1 アンサーキズム 2 インターネット 3 ジャーナリズム 4 デメリット 5 プロセス 6 ルール

問四 空欄 ①〜⑥ には、次のどの動詞の活用形を入れるのが最も適当か、それぞれ一つ選んでマークせよ(同じ動詞を一度用いてはならない)。

- 1 獲得する 2 避ける 3 説明する 4 提供する 5 問い直す 6 否定する

問五 傍線

I、II、IIIの本文中の意味に最も近いものを、それぞれの中から一つ選んでマークせよ。
3 単純化による認識の欠如

I 誤謬

1 嘘をつき相手を騙す行為

2 正解を選択できない心理

II 寛容さ

1 他人の過ちや違いを受け入れ、大らかに接する態度

5 間違いや不合理な推論

III 酒々と

1 他人の意見に左右されず、自分の価値観を貫く態度

II 寛容さ

3 他人の考えをすべて肯定し、自分の主張を通さない姿勢

III 酒々と

4 他人の行動に対し、規律を重んじる姿勢

III 酒々と

5 他人の方針に従従し、波風を立てない態度

III 酒々と

1 大きな声で

2 白々しく

3 突如として

4 ゆっくりりと

5 淀みなく

問六 空欄

A、B、C、D、Eは二か所には、次のどの言葉を入れるのが最も適当か、それぞれ一つ選んでマークせよ。同じ言葉を二度用いてはならない。

I 集団的

2 実践的

3 内在的

4 日常的

5 認識的

6 連鎖的

問七 空欄

X、Y、Zには、どのような言葉を入れるのが最も適当か、本文より一字で抜き出せ。

問八 空欄

Yには、次のどの語句を入れるのが最も適当か、一つ選んでマークせよ。

1 崖を飛び越えられる確率が高いほうが

2 崖を飛び越えられる確率が低いほうが

3 真実を知っている場合のほうが

4 真実を知らない場合のほうが

5 真なる信念が価値をもたないほうが

6 真なる信念が価値をもつほうが

5 真なる信念が価値をもたないほうが

6 真なる信念が価値をもつほうが

6 真なる信念が価値をもつほうが

6 真なる信念が価値をもつほうが

問九 空欄

Zには、どのような言葉を入れるのが最も適当か、本文より一字で抜き出せ。